ハンドマイク街頭演説原稿例　裏金問題の徹底的な真相究明を

二〇二三年十二月一二日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、自民党の派閥パーティーの裏金問題は、まさに底なしの様相となっています。自民党内最大の派閥である安倍派では、パーティー券の販売ノルマを超えて集めたお金を政治資金収支報告書にのせず、議員側に返すキックバックが組織的に行われていたとされます。こうやって作られた裏金の総額は２０２２年までの５年間で５億円にものぼるとみられます。「私たち国民には負担を押し付け、自分たちはせっせと裏金作りとは…。ほんとに許せない」。国民の怒りの声も当然です。

　この疑惑について、松野官房長官はじめ、安倍派の幹部は誰ひとりとしてまともな説明をせず、国会審議や記者会見で質問されても具体的な答弁を一切拒否しています。「政治とカネ」への説明責任を投げ捨てるもので、けっして許されません。麻生派、二階派など主要５派閥でも同じ手法の裏金づくりがあったと報じられており、自民党全体にかかわるきわめて重大な疑惑です。自民党の党首・総裁である岸田首相には、疑惑の全容を徹底的に調査し、国民の前に明らかにする重い責任があります。同時に、国会としても疑惑の真相究明を最優先でおこなうべきです。派閥の歴代事務総長など関係者を証人喚問し、予算委員会での集中審議を徹底的に行うよう強く求めます。

　日本共産党は、以前から、金権腐敗政治の温床となる企業・団体献金は一切禁止すべきと主張してきました。今回の裏金疑惑をうけ、日本共産党国会議員団は、政治資金パーティーも含めた「企業・団体献金全面禁止法案」を参議院に提出しました。企業・団体献金や政党助成金を一切受け取らない日本共産党だからこそ、今回の裏金問題でも厳しく追及することができます。来る総選挙では、日本共産党を大きく伸ばしていただき、金権腐敗政治を一掃していこうではありませんか。大きなご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、岸田自公政権が国民の批判に追いつめられるなか、先日、野党共闘の再構築にむけた重要なステップがありました。「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が、日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖縄の風」の五党派と政策要望会を開きました。そのなかで、「憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない」などの「５項目の要求」を立憲野党の共通政策とすることが確認できました。政治をおおもとから切り替えるためには、市民と立憲野党が力をあわせて政権交代をめざす以外にはありません。総選挙にむけ、日本共産党は、共闘再構築のために引き続き力を尽くしていきます。ともに力をあわせ、新しい政治を実現していきましょう。

　最後に、いま大問題となっている裏金疑惑は、昨年１１月の「しんぶん赤旗」のスクープ報道がきっかけとなりました。どんな問題でもタブーなく真実を伝える「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）